

# やすらぎ短信

令和3年  
2月号

## 二月二日 節分



節分は、一年に四回あるのをご存じでしたか。一年の季節を地球と太陽の位置関係によって二十四分割した「二十四節気」というものがあります。その中に、春・夏・秋・冬のはじまりとする立春・立夏・立秋・立冬があり、その前日を節分といいます。つまり、節分は、春夏秋冬の四季を分ける日をいいます。旧暦では、「二十四節気」のはじまりの立春を一年のはじまりと考えていたため、立春前日の節分に豆まきをして鬼（厄災）を追い払う「追儺（ついな）」の儀式が行われ、新年の無病息災を祈ってきました。現在は二月の節分が年中行事として残り、豆まき＝節分となりました。

### 恵方巻きと歳徳神・七福神

恵方とは、その年の最も良い方角のことをいい、福をもたらす歳徳神（としとくじん）がいらっしゃる方角と信仰されています。節分にその方角を向き、目を閉じて無言で「恵方巻き」を食べると万事に吉とされています。



「恵方巻き」という言葉は、最近いわれるようになったようですが、七福神の御神徳にあやかり七種類の具が巻かれています。ちなみに今年の恵方は「南南東」です。

### 前厄・本厄・後厄とは

厄年で一番気になるのが本厄です。男性が二十五歳・四十二歳、女性が十九歳・三十三歳・三十七歳などをいいます。この年齢の前後を前厄・後厄といいます。なぜ、前厄・後厄があるのでしょうか。それは「本厄を含めた前後三年間に厄災が起こりやすく、気を付けなさい。」と

いう先人たちの人生経験上での教えです。前厄、後厄も慎重にものごとを進めることが大事です。また、厄年はそれ以外に四十九歳・六十一歳（還暦）・七十歳（古希）・七十七歳（喜寿）・八十歳（傘寿）・八十八歳（米寿）なども含まれます。厄年は節目の年といわれるように人生を見つめなおす大切な年なのです。

### 「令和三年厄年一覧」

男性			女性		
24歳	平成10年生(1998年)	前厄	18歳	平成16年生(2004年)	前厄
25歳	平成9年生(1997年)	本厄	19歳	平成15年生(2003年)	本厄
26歳	平成8年生(1996年)	後厄	20歳	平成14年生(2002年)	後厄
41歳	昭和56年生(1981年)	前厄	32歳	平成2年生(1990年)	前厄
42歳	昭和55年生(1980年)	本厄	33歳	昭和64年生(1989年) 平成元年生(1989年)	本厄
43歳	昭和54年生(1979年)	後厄	34歳	昭和63年生(1988年)	後厄
			36歳	昭和61年生(1986年)	前厄
			37歳	昭和60年生(1985年)	本厄
			38歳	昭和59年生(1984年)	後厄
49歳	昭和48年生(1973年)	本厄	49歳	昭和48年生(1973年)	本厄
61歳	昭和36年生(1961年)	還暦	61歳	昭和36年生(1961年)	還暦
70歳	昭和27年生(1952年)	古希	70歳	昭和27年生(1952年)	古希
77歳	昭和20年生(1945年)	喜寿	77歳	昭和20年生(1945年)	喜寿
80歳	昭和17年生(1942年)	傘寿	80歳	昭和17年生(1942年)	傘寿
88歳	昭和9年生(1934年)	米寿	88歳	昭和9年生(1934年)	米寿

※厄祓いは一年中受付けております。

### 元旦祭並びに開運祭齋行

去る一月一日、午前零時より元旦祭、午前十時三十分より開運祭をご奉仕致しました。今年は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、氏子会役員に限定し、ご案内をさせていただきました。当日は天候にも恵まれ穏やかお正月を迎えることができました。令和三年が皆様にとりまして、みのりある幸せな年でありますようご祈念致しました。開運祭の祭典後には、神楽舞月姫会の青木菜桜さん背古桃花さん二名による「鈴の舞」が奉納されました。鈴の音は邪気を祓うといわれています。新型コロナウイルスが一日も早く収束し、穏やかな日常が戻るように祈りを込めた優雅な舞が舞われました。



### 古神札焼納祭齋行

去る一月十五日午前九時より、古神札焼納祭（どんど焼き）が齋行されました。参列者は、一年間ご守護頂いたお神札、お守り、縁起物などに感謝を込めて焼納し、火にあたりながら、一年間の無病息災を祈願しておりました。毎年楽しみにしていたお汁粉・甘酒の振る舞いはできませんでしたが、来年こそは通常どおり行いたいです。



### 「ちあばい」の無料提供

「ちあばい」とは、「とちあばい」ががん患者の集い「プレシヤス」様が乳癌患者さんのために無料で配布しております「乳房パット」のことです。この度、幕別町で編み物教室や糸糸、雑貨の販売を手がける「いとつむぎ」様とご縁があり、ボランティア活動として、一つ一つ手編みでつくられた「ちあばい」を当社でも無料配布させていただきます。ご希望の方は遠慮なくご連絡ください。



### 【お焚き上げのお知らせ】

浦幌神社では、神棚、人形（雛人形、五月人形）等のお焚き上げを年中受付けております。詳しくは浦幌神社社務所へ

電話 ○一五・五七六・二四四八

### 浦幌神社行事予定

- 二月一日 月次祭
- 二月二日 節分祭
- 二月十一日 紀元祭
- 二月十五日 月次祭
- 二月二十三日 天長祭

発行 浦幌神社社務所

北海道十勝郡浦幌町字東山町十八番地の一

電話 ○一五・五七六・二四四八